



令和5年 新年の御挨拶



内閣府公益認定等委員会委員長
佐久間 総一郎

新年明けましておめでとうございます。

令和5年の年頭にあたり、まずは、日々公益活動に取り組んでこられている公益法人関係者の方々、また、寄附や活動への参加などを通じて、公益法人をあたたく御支援くださっている多くの皆様に、厚く御礼を申し上げます。

昨年は、新型コロナウイルス感染症の影響に加え、ロシアによるウクライナ侵攻、原材料価格の上昇や円安の影響等による物価高騰等、社会経済情勢に大きな変化があった1年でした。法人運営や事業の実施等にも大きな影響があった公益法人も少なくないと思います。このような状況下でも、創意工夫を加えた活動を行い、「民による公益の増進」の中心的な役割を果たされていることに敬意を表します。

公益法人制度にとっても、昨年は大きな契機となる年でした。現行の公益法人制度の創設から、15年目を迎え、現政権の掲げる新しい資本主義の下、政府において、昨年より、制度改革の検討が進められています。民間公益活動が、国民の信頼や協力を得て一層推進されるよう、時代に合った改革が行われることを期待します。

公益認定等委員会としても、制度改革の動向を注視しつつ、引き続き、真摯かつ実直に活動する公益法人を応援し、国民の皆様のために、公益法人の審査・監督に努めてまいります。特に、新型コロナウイルス感染症の影響により、活動に支障が生じているなど、お困りのことがありましたら、法人の皆様の状況をよくお伺いし、御事情を斟酌して対応したいと考えておりますので、是非御相談ください。

皆様におかれましては、今後とも、全国各地の公益法人の活動に厚い御支援をいただきたく、また、内閣府公益認定等委員会及び都道府県の合議制機関の活動に対し、御理解を賜れば幸いです。

本年が皆様にとって良い年となるよう祈念しまして、新年の御挨拶といたします。

令和5年1月1日